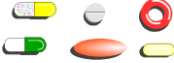



疾患別診療計画書

頸椎後方除圧術を受ける方へ①

経過	入院	手術日		1日目	2日目	3日目	
		術前日	術前 術後				
治療薬剤 (点滴・内服)		外来で麻酔科受診が済んでいない方は診察があります 21時に下剤の内服をします	術前から点滴を入れます(午前中手術予定の方は手術室で入れます) 	手術中に抗生剤の点滴を行います 手術後、帰ってから5時間酸素をします 帰室後、1回抗生剤の点滴をします	食事が取れれば点滴を抜きます 抗生剤の点滴を2回行います(2日間) 		
検査				採血を行います 			
処置		後頸部の髪の毛をそります 下剤の内服があります	前開きパジャマに着替えます 静脈血栓予防のため弾性ストッキングをはきます	痛みが強い時は我慢せずに看護師にお知らせください 看護師にお知らせください 創部にドレーン(貯留液を抜く管)が入ってきます		適宜、医師により傷の消毒を行います 術後2日目に降に排液の状況に合わせてドレーンを抜きます 歩行出来ればストッキングは除去します	
食事 (栄養士による指導も含む)	症状に合わせて食事を出します アレルギーがありましたら看護師にお伝えください	21時以降は食べ物を食べることは出来ません	飲水は3時まで可能です	吐き気がなければ帰室5時間後飲水可です	吐き気がなければ朝から食事が食べられます 症状に合わせて食事を出します		
安静度	特に制限はありません			手術後はベッド上安静になります 頭を30度だけ起こせます	病棟内歩行可能です(痛くない範囲で行いましょう) 痛みの範囲に応じて歩行器・車椅子を使用します		
リハビリ	術前からリハビリが介入します					必要時理学・作業療法士によりリハビリテーションが始まります	
清潔	制限はありません	シャワー浴をします	朝、洗面、歯磨きは行ってよいです ただし水は飲まないようにしてください		タオルで体を拭きます傷のテープが外れるまで頭は洗えません		
排泄			(場合により病棟で尿管を入れます)	排尿は管が入っているためベッドから降りる必要はありません 大便是ベッド上で排泄していただきます	排尿の管を抜きます 管が抜けてからはベッド上で便器又は尿器を使用します トイレまで歩行し、排泄できます		
準備物品		パジャマ(そのうち1組みは前開きのもの) 手術時には弾性ストッキングのサイズを測ります リハビリ用の靴を準備して下さい					
患者様及びご家族への説明		◎手術について医師から説明があります ◎看護師から入院生活についてと手術前の説明があります ◎薬剤師が薬について説明します(術前、後) ◎レンタルパジャマやクリーニング利用希望の方は、看護師へお伝えください ◎主治医からの治療の説明があります 何か不明な点がありましたら遠慮せずに声をかけてください ◎術後状態が安定したら、退院支援強化病棟へ移動する事があります	必要書類を記載し、看護師に渡してください	主治医より術後結果の説明手術が終わった時点でご家族に手術についての説明を行います ◎心配な点や不安な点がありましたらご相談ください	頭痛、吐き気のある場合はお申し出下さい		
看護		手術について不安な点がありましたら看護師にお申し出ください		痛みが強い場合は、痛み止めを服用しますので、お申し出ください	歩行状況に応じて、車椅子や歩行器をご用意いたします		

頸椎後方除圧術②

経過	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目
治療薬剤(点滴・内服)							10日目～退院または転院		
検査					医師の指示により採血とレントゲン撮影を適宜行います				
処置	適宜、傷の消毒を行います						傷の抜糸を行いません 傷のテープをはがします		
食事(栄養士による指導も含む)									
安静度									
リハビリ									
清潔					医師の許可でシャワーが行えます			入浴が可能になります	
排泄									
準備物品									
患者様及びご家族への説明					シャワー浴・入浴の方法を説明します				
看護							退院について不安な点がありましたら、お申し出ください		